

自分たちで考えるルール

三田市の中学生に iPad が配布されて、丸 5 年が経過しました。つい先日、端末の入れ替えがありましたね。真新しい iPad を使い始めるのは、少しわくわくしませんか。もっとも、わくわくしているだけではいけません。iPad は便利なツールである一方で、その使用には責任も伴います。正しく、賢く活用するためには、みんなが一定のルールを守る必要があります。これまでは、先生たちが決めた iPad 活用のルールを、みなさんに伝えてきましたが、今年度は少し違う取り組みを始めました。

先日、新入生歓迎会の中で代表委員長からも紹介があったように、代表委員会の取り組みとして、代表委員が中心となってルールの改訂を行いました。内容について話し合ったうえで、昨年度 3 学期の代表委員のみなさんが、教室掲示用のリーフレットも作成してくれました。生徒の目線でルールを見直し、自分たちの学校生活がより良くなるように考えてくれています。

時折、みなさんの中から、周囲の人の iPad の使い方について疑問の声が上がる場合があります。「不必要なときに触っている」「学習に関係のないサイトを見ている」「人の写真を勝手に撮っている」といったものです。もちろん、これらの行為がなくなるに越したことはありません。

しかし、誰にでも間違いはあるものですし、そもそも中学校は間違ってもよい場所です。(間違ったあとにどうするかが大切ですよ。) 私が最も感心しているのは、こうした行為がおかしいことに、みなさん自身が気づくことができるようになってきたという点です。

このように、集団の中で自分たちから良くなっていこうとする動きを「自浄作用」といいます。この自浄作用が働いている組織は、過ごしやすく、居心地のよいものになります。生徒自身がルールを定め、自分たちの手で守っていこうとする。そんな学校に、少しずつ近づいてきているのではないのでしょうか。

「生活のきまり」も同じです。生徒会役員のみなさんが中心となり、毎年考え直しています。ルールに納得できないとき、破るのではなく、より良いものに変えていこうとする姿勢を大切にしていきたいですね。ルールは、みんなを縛るものではなく、みんな育て、大切に守っていくものなのです。

三田市立けやき台中学校「iPad活用のルール」

目的

学校から貸し出すiPadは、より深く、豊かな学習のために使用するものです。大変便利な道具ですが、使い方を間違えれば心配されることもたくさんあります。そのためけやき台中学校では「iPad活用のルール」を定めています。

全校生徒でこのルールを守り、iPadを「安心・安全・快適」に活用していきましょう。

①使用目的を守る

- ・授業に関連すること以外で使用しない。
- ・不必要なアプリやサイトを利用しない。
(規則とされていなくても使用するべきか判断する)
- ・原則、iPadの使用は午前7時から午後22時までとする。
- ・不要なデータは整理する。
- ・原則、他のデバイス(自宅のスマホやタブレット、PC等)と学校のタブレットの間でデータの送受信(共有)を行わない。

②プライバシーを守る

- ・IDやパスワードをしっかりと管理する。
(パスワードを勝手に変更しない、人に教えない)
- ・学習目的であっても、カメラで誰かを撮影する時は、勝手に撮らず、必ず撮影する相手の許可をもらう。
- ・自分や他人の個人情報(写真や名前、住所、電話番号など)はインターネット上にあげない。
- ・持ち帰ったiPadは家庭のWi-Fiに接続して使用することができる。
安全のため、コンビニやお店などのフリーWi-Fiには接続しない。

③故障を防ぐ

- ・登校中はカバンに入れておく。
- ・iPadに圧力が加からないように使用、保管する。
- ・毎日家に持って帰り、家で十分に充電して持ってくる。

④安心・安全に使用する

- ・人が嫌がる投稿、写真の撮影などはしない。
- ・インターネット上の写真や動画、文章を勝手に使用しない。
(著作権や肖像権を守る)
- ・インターネットから得た情報が正しいか、よく考え判断し、利用する。